

# 改善計画書

施策番号	局・部	担当課	職名	氏名	電話番号(直通)
15210	教育局 生涯学習部	スポーツ課	課長	西原 巧	042-769-9245
施策名	スポーツ・レクリエーション活動の促進				

## 1 施策の目的

スポーツ・レクリエーション活動は、人々の健康の保持・増進、体力の向上、生きがいがづくりなどの面で大きな役割を果たすとともに、人々との交流を深め連帯感を生みだし活力あるまちづくりの一助となる。このため、市民がいつでも、気軽にスポーツ・レクリエーション活動ができるよう、各種教室や大会等の拡充を図るとともに、地域スポーツ・レクリエーション活動を促進し、相模原市スポーツ振興計画の目標に基づく成人スポーツ実施率 50%以上を目指す。

## 2 取組み(目的達成するため、課題解決に向けて取り組んだ内容・事業)

- 総合型スポーツクラブモデルの普及啓発のため、7クラブによるPR事業の実施
- 第2回相模原スポーツフェスティバルを相模原麻溝公園競技場において実施
- 市民選手権大会や市民体育祭など各種大会の実施

## 3 実績値の分析(目標値に対する実績値について、取組み内容の効果・成果を分析する)

- 成人のスポーツ実施率については、アンケート等未実施のため実績値を早急に対応する
- 総合型スポーツクラブについては、目標の9クラブに達成できる。
- 第3回相模原スポーツフェスティバルについて参加者は減少した。幅広い参加を呼びかけるために高齢者等も参加できる内容を検討する。
- 各種大会については、目標値は達成できず。 体育協会等と連携し、潜在する競技者の掘り起こしを検討する。
- スポーツ・レクリエーション講習会については、成果が出ず、講習会内容の検討を行う。

## 4 平成20年度評価結果(3次評価での指摘事項及び意見)

1次評価	C	2次評価	C	3次評価	C
------	---	------	---	------	---

- ◆補助金の効果がわかるような指標を設定すること。
- ◆指標1・指標3の目標値については、相模原市として意思を持った目標値を設定すること。
- ◆解決策が課題に対する解決策になっていないので、課題を見極め、具体的な解決策を検討し記入すること。

## 5 改善に向けたスケジュール

改善項目	平成 20 年			平成 21 年												平成 22 年		
	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
<b>①補助金の効果指標の設定</b>																		
補助金の目的・成果について、チーム内での検討	→																	
補助金の効果指標の内容の検討 (事業費補助事業への参加率)				→ ●														
基準値・目標値の妥当性の検証				→														
構成事業の見直し				→							●							
<b>②指標1、指標3の目標値設定の再考</b>																		
現状分析	→																	
目標値の再検討・決定				→ ●														
<b>③具体的解決策の検討</b>																		
課題整理	→																	
解決策の検討				→														

\*課題：病気の予防やメタボ対策など、スポーツのもたらす効果や気軽にはじめられる状況にあることを知らない市民が多い。

\*解決策：スポーツフェスティバル、総合型スポーツクラブPR事業やスポーツ・レクリエーション講習会などで、市民の誰もがスポーツに親しめるようなきっかけづくりに努めていくことで、生涯スポーツ・レクリエーションへの認識を高める。